

平成 30 年度

第 2 回 公立大学法人山形県立保健医療大学経営審議会 議事録

日 時 平成 30 年 6 月 28 日（木）10 時 30 分から 11 時 27 分まで

場 所 202 会議室

出席者 前田理事長、伊藤理事、藤井理事、菅原理事、内藤理事、高橋理事、中山委員、三科委員
事務局 鈴木事務局次長、大沢教務学生課長、山田総務企画専門員、大場総務企画主査

1 開会

2 議事録署名人の指名

- ・審議会議長である前田理事長が、伊藤委員、内藤委員を議事録署名人として指名した。

3 審議事項

(1) 平成 29 年度決算について

- ・事務局から資料 1 - 1 から資料 1 - 3 により、29 年度決算について説明された。
- ・伊藤監事から、資料 1 - 4 により監査結果が報告された。
- ・質疑が行われ、原案のとおり議決された。

<質疑>

①未収金はすべて入金されているか。

⇒入金されている。

②臨時利益分について、28 年度に入らなかった理由は

⇒H28 年度末に急な退職があったため、退職手当分の運営費交付金の交付が間に合わず、29 年度に交付された。この分の運営費交付金を経常収益とは分けて臨時収益に計上したものである。

③県からの現物出資について、開学当初から予定されていたものはこれで全てか。

⇒出資が予定されているものはない。

(2) 平成 29 年度 年度計画の実績について

- ・事務局から、資料 2 により説明された。
- ・質疑が行われ、原案のとおり議決された。

<質疑>

①以前から比べるといい評価が増え、概ね目標どおりとのことだが、若年層の人口減少や他の競合大学など動きも踏まえ、今後更に良くしていくためにどうしていくか。

⇒18 歳人口は減少しており、各大学とも危機感を持っている。質のいい学生を集めるため、大学から大学院博士後期課程までの一貫教育、少人数教育、チーム医療教育、地元ナース養成を充実させ特色としていきたい。

②本県は人口減少が進んでおり、中央の指示に従った事業が地域の特性に合わない部分が出てきて運用が困難になってきている。地域の現状に即し、県の抱える問題や住民の抱える問題を先取りしたものを研究テーマにすることで発信力が強まるのではないか。

⇒ますます力を入れて取り組んでいきたい。

(3) 平成 30 年度補正予算について

- ・質疑が行われ、原案のとおり議決された。

< 質疑 >

- ① 科研費の採択件数は、今年度の新規分は継続分比べて少ないように思われるがいかがか。
⇒ 挑戦的研究という項目がこれから内示予定であり補正予算には含まれていない。また、継続分がある場合は重複して新規申請ができないなどの制限もあり、全体としては、ほぼ例年と同様だと思われる。

4 報告事項

(1) 平成30年度入学者の状況について

- ・ 事務局から資料4により報告され、以下の質疑がなされた。
 - ① 大学院博士後期課程の入学者が県内出身者0だが、出身地とはどの時点でのものか。
⇒ 出身高校が山形県内の場合に県内出身者としている。
 - ② 看護学科への転入者とは、他の大学からの転入か。
⇒ 専門学校（看護学校）の卒業者が3年次から編入したものである。

(2) 平成29年度卒業者の状況について

- ・ 事務局から資料5により報告された。

4 その他

5 閉会

※ 配布資料

- ・ 資料1-1 平成29年度財務諸表（案）
- ・ 資料1-2 平成29年度決算報告書（案）
- ・ 資料1-3 平成29年度事業報告書（案）
- ・ 資料1-4 監査報告書
- ・ 資料2 平成29年度 業務実績報告書（案）
- ・ 資料3 平成30年度補正予算（第1号）（案）
- ・ 資料4 山形県立保健医療大学 平成30年度入学者の状況
- ・ 資料5 平成29年度国家試験受験状況
- ・ 参考資料 平成29年度決算の概要

以上

議事録署名人

.....
.....

議 長

.....